



令和 8 年伊達市議会定例会第 5 回定例会議（9 月定例会議）提出議案概要

提出案件 44件

報告	4 件
人事	3 件
条例制定	2 件
条例の一部改正	4 件
条例の全部改正	1 件
補正予算	6 件
決算	18件
その他	6 件

1 報告（4 件）

番 号	件 名 及 び 内 容
報告第 6 号	市が資本金を出資している法人の経営状況を説明する書類の提出について 【提案理由】 地方自治法第243条の3第2項の規定により、一般社団法人伊達市振興公社の経営状況を説明する書類を提出するもの 【主な内容】 一般社団法人伊達市振興公社の令和7年度事業報告及び決算報告書並びに令和8年度事業計画を提出するもの
報告第 7 号	市が資本金を出資している法人の経営状況を説明する書類の提出について 【提案理由】 地方自治法第243条の3第2項の規定により、株式会社保原振興公社の経営状況を説明する書類を提出するもの 【主な内容】 株式会社保原振興公社の令和7年度事業報告及び決算報告書並びに令和8年度事業計画を提出するもの
報告第 8 号	令和7年度伊達市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について 【主な内容】 ○健全化判断比率 伊達市の比率（早期健全化基準比率） 実質赤字比率 赤字なし (12.58%) 連結実質赤字比率 赤字なし (17.58%) 実質公債費比率 10.8% (25.0%) 将来負担比率 55.8% (350.0%) ○資金不足比率 伊達市においては資金不足を生じている会計なし



番 号	件 名 及 び 内 容
報告第 9 号	令和 7 年度伊達市一般会計継続費精算報告書について 【主な内容】 地方自治法施行令第145条第 2 項の規定により、令和 7 年度に終了した継続費の精算について、議会に報告するもの 【事 業 名】総合支所庁舎建設事業（伊達総合支所） 【設定年度】令和 6 年度から令和 7 年度 【事 業 費】計画 634, 000, 000円 実績 432, 344, 000円 差額 201, 656, 000円 【事 業 名】総合支所庁舎建設事業（霊山総合支所） 【設定年度】令和 6 年度から令和 7 年度 【事 業 費】計画 522, 028, 000円 実績 368, 317, 400円 差額 153, 710, 600円

2 人事（3 件）

番 号	件 名 及 び 内 容
議案第63号	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて 【提案理由】 令和 8 年12月31日付けで 3 年間の任期満了に伴い、法務大臣に人権擁護委員の候補者を推薦するにあたり、議会の意見を求めるもの 【推薦候補者】 1 名 再任 【任期】 令和 9 年 1 月 1 日～令和11年12月31日
議案第64号	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて 【提案理由】 令和 8 年12月31日付けで 3 年間の任期満了に伴い、法務大臣に人権擁護委員の候補者を推薦するにあたり、議会の意見を求めるもの 【推薦候補者】 1 名 新任 【任期】 令和 9 年 1 月 1 日～令和11年12月31日



番 号	件 名 及 び 内 容
議案第65号	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて 【提案理由】 令和 8 年 12 月 31 日付けで 3 年間の任期満了に伴い、法務大臣に人権擁護委員の候補者を推薦するにあたり、議会の意見を求めるもの 【推薦候補者】 1 名 新任 【任期】 令和 9 年 1 月 1 日～令和 11 年 12 月 31 日

3 条例制定（2 件）

区分	件 名 及 び 内 容
議案第66号	伊達市篤志奨学資金給付基金条例の制定について 【制定趣旨】 令和 8 年 1 月の指定寄附を受けて、奨学資金の給付に関する事務を円滑かつ効率的に行うため、地方自治法第 241 条第 1 項の規定に基づき、伊達市篤志奨学資金給付基金を設置し、伊達市篤志奨学資金給付基金条例を制定するもの 【主な内容】 篤志奨学資金給付基金について、積立ての額、管理、運用益金の処理等について定める 【施行期日】 公布の日
議案第67号	伊達市篤志奨学資金給付条例の制定について 【制定趣旨】 令和 8 年 1 月の指定寄附を受けて、経済的理由により修学困難な者に奨学資金を給付することにより、教育の機会均等を図りもって有用な人材を育成するため、伊達市篤志奨学資金給付条例を制定するもの 【主な内容】 篤志奨学資金給付について、受給資格、奨学資金の額、給付期間、申請手続等必要な事項について定める 【施行期日】 公布の日から起算して 6 月を超えない範囲内において規則で定める日



4 条例の一部改正（4 件）

区分	件 名 及 び 内 容
議案第68号	伊達市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について 【改正趣旨】 地方自治法施行規則の改正に伴い、条例の一部を改正するもの 【主な内容】 引用条項等の改正 【施行期日】 令和 8 年10月 1 日
議案第69号	伊達市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例について 【改正趣旨】 「地域再生法第十七条の六の地方公共団体等を定める省令」の改正に伴い、条例の一部を改正するもの 【主な内容】 固定資産税の課税免除及び不均一課税の適用期限を延長するもの 【施行期日】 公布の日
議案第70号	福島県特定事業活動振興計画に基づく市税の特例に関する条例の一部を改正する条例について 【改正趣旨】 「福島復興再生特別措置法第二十六条等の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令」の改正に伴い、条例の一部を改正するもの 【主な内容】 固定資産税の課税免除の適用期限を延長するもの 【施行期日】 公布の日
議案第71号	伊達市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について 【改正趣旨】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正に伴い、条例の一部を改正するもの 【主な内容】 引用条項等の改正 【施行期日】 公布の日



5 条例の全部改正（1 件）

番 号	件 名 及 び 内 容
議案第72号	伊達市奨学資金貸与条例の全部を改正する条例について 【改正趣旨】 伊達市篤志奨学資金給付条例の制定に伴い、整合性を図るため、伊達市奨学資金貸与条例の全部を改正するもの 【主な内容】 （１）対象者の整理 （２）対象となる学校の明記 （３）奨学資金審査会の名称の変更 （４）規則で定める事項については削除する 【施行期日】 公布の日

6 補正予算（6 件）

番 号	件 名 及 び 内 容
議案第73号	令和 8 年度伊達市一般会計補正予算（第 3 号） 【主な内容】 歳入 地方交付税 △307,519千円 国庫支出金 40,557千円 県支出金 24,499千円 寄附金 500千円 繰入金 19,899千円 繰越金 1,301,695千円 諸収入 △18,511千円 市債 2,800千円 歳出 議会費 △682千円 総務費 699,920千円 民生費 87,356千円 衛生費 △4,915千円 労働費 65千円 農林水産業費 29,293千円 商工費 △5,093千円 土木費 88,661千円 消防費 △595千円 教育費 169,730千円 災害復旧費 180千円 補正総額 1,063,920千円



番 号	件 名 及 び 内 容
議案第74号	令和8年度伊達市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入は、人件費補正による繰入金の増額補正及び前年度繰越金確定に伴う繰越金の増額補正 歳出は、人件費補正による総務費の増額補正及び決算額確定に伴う基金積立金の増額補正 【主な内容】 歳入 繰入金 4,568千円 繰越金 55,477千円 歳出 総務費 4,568千円 基金積立金 55,477千円 補正総額 60,045千円
議案第75号	令和8年度伊達市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 歳入は、人件費補正による繰入金の減額補正及び前年度繰越金確定に伴う繰越金の増額補正 歳出は、人件費補正による総務費の減額補正及び前年度事業費確定に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増額補正 【主な内容】 歳入 繰入金 △2,773千円 繰越金 1,293千円 歳出 総務費 △2,773千円 後期高齢者医療広域連合納付金 1,293千円 補正総額 △1,480千円
議案第76号	令和8年度伊達市介護保険特別会計補正予算（第1号） 歳入は、当初賦課、交付決定等による保険料、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金及び繰越金の増額補正、歳入増による繰入金の減額補正 歳出は、人件費補正による総務費の増額補正、前年度事業費確定等による諸支出金の増額補正 【主な内容】 歳入 保険料 55,122千円 国庫支出金 1,681千円 支払基金交付金 5,310千円 県支出金 1,003千円 繰入金 △36,003千円 繰越金 58,528千円 歳出 総務費 1,071千円 諸支出金 84,570千円 補正総額 85,641千円



番 号	件 名 及 び 内 容
議案第77号	令和 8 年度伊達市水道事業会計補正予算（第 1 号） ○収益的収支 収入は、人件費補正による営業外収益の減額補正 支出は、人件費補正による営業費用の減額補正 ○資本的収支 支出は、人件費補正による建設改良費の減額補正 【主な内容】 ○収益的収支 収入 営業外収益 △226千円 補正総額 △226千円 支出 営業費用 △3,214千円 補正総額 △3,214千円 ○資本的収支 支出 建設改良費 △112千円 補正総額 △112千円
議案第78号	令和 8 年度伊達市下水道事業会計補正予算（第 1 号） ○収益的収支 収入は、人件費補正による営業外収益の減額補正 支出は、人件費補正による営業費用の減額補正 【主な内容】 ○収益的収支 収入 営業外収益 △12千円 補正総額 △12千円 支出 営業費用 △87千円 補正総額 △87千円



7 決算（18 件）

令和 7 年度一般会計、特別会計の決算について、監査委員の意見を添え議会の認定に付するもの

番 号	件 名 及 び 内 容
議案第79号	令和 7 年度伊達市一般会計歳入歳出決算認定について
議案第80号	令和 7 年度伊達市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第81号	令和 7 年度伊達市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第82号	令和 7 年度伊達市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第83号	令和 7 年度伊達市工業団地特別会計歳入歳出決算認定について
議案第84号	令和 7 年度梁川財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第85号	令和 7 年度白根財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第86号	令和 7 年度山舟生財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第87号	令和 7 年度富野財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第88号	令和 7 年度五十沢財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第89号	令和 7 年度富成財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第90号	令和 7 年度柱沢財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第91号	令和 7 年度上保原財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第92号	令和 7 年度金原田財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第93号	令和 7 年度掛田財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第94号	令和 7 年度大石財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第95号	令和 7 年度伊達市水道事業会計決算認定について 【提案理由】 令和 7 年度伊達市水道事業会計決算を監査委員の意見を添え議会の認定に付するもの
議案第96号	令和 7 年度伊達市下水道事業会計決算認定について 【提案理由】 令和 7 年度伊達市下水道事業会計決算を監査委員の意見を添え議会の認定に付するもの



8 その他（6件）

番 号	件 名 及 び 内 容
議案第97号	字の区域の変更について 【提案理由】 字の区域を変更するため、議会の議決を求めるもの 【主な内容】 伊達市堂ノ内地区土地区画整理事業に伴い区域内の字を「伊達市堂ノ内」「伊達市鶴田」「伊達市一本木」に編入するもの 【施行期日】 換地処分公告があった日の翌日
議案第98号	伊達市名誉市民の選定につき議会の同意を求めることについて 【提案理由】 伊達市名誉市民に選定したいから、伊達市名誉市民条例第3条の規定により、議会の同意を求めるもの 【選定しようとする者】 故 三浦 謹之助
議案第99号	伊達市名誉市民の選定につき議会の同意を求めることについて 【提案理由】 伊達市名誉市民に選定したいから、伊達市名誉市民条例第3条の規定により、議会の同意を求めるもの 【選定しようとする者】 故 太田 良平
議案第100号	伊達市道路線の変更について 【提案理由】 市道路線の変更をするため、道路法第10条第3項の規定により議会の議決を求めるもの 【主な内容】 路線変更：1路線（23313 愛宕後線）
議案第101号	財産の取得について 【提案理由】 図書館システム更新に係る市立図書館、各中央交流館図書室の業務端末等一式の取得契約について、議会の議決を求めるもの 【主な内容】 1 取得の内容 市立図書館、各中央交流館図書室の業務端末等一式 2 取得金額 37,777,300円 3 契約の方法 随意契約 4 契約の相手方 テクノ・マインド株式会社 代表取締役社長 飯塚 達也



番 号	件 名 及 び 内 容
議案 第102号	財産の取得について 【提案理由】 G I G Aスクール構想第 2 期に係る市立小中学校の学習用端末等の 取得契約について、議会の議決を求めるもの 【主な内容】 1 取得の内容 G I G Aスクール第 2 期に係る学習用端末等一式 3,943台 2 取得金額 216,865,000円 3 契約の方法 随意契約 4 契約の相手方 株式会社エフコム 代表取締役社長 斎藤正弘

令和8年度伊達市一般会計 補正予算(第3号)の概要

人と緑と歴史が結び合う

ひかり輝く田園空間



問い合わせ先
財務部 財政課
電話024-575-1189

1 一般会計歳入歳出予算の補正額

補正前の額	31,513,478千円
補正額	1,063,920千円
補正後の額	32,577,398千円

2 補正の主な事業内容

(1) 新多目的交通システム事業

10,558千円

【概要】

デマンドタクシー予約窓口の一本化に向け、保原エリアで利用している予約システムを市内全域に拡充し、利便性の向上を図ります。

【内容】

- ・オペレーター用パソコン6台
- ・車載タブレット20台
- ・研修2回 等

【運用開始】

令和9年4月1日



(2) 篤志奨学資金基金事務

190,000千円

【概要】

修学の意欲及び明確な目的意識があるが、経済的理由により修学困難な方に対して、奨学資金を給付し、有用な人材を育成するため基金を積み立てします。

(3) 合併20周年記念小中学校タイムカプセル事業

282千円

【概要】

伊達市合併20周年を記念し、市内小中学校の児童生徒が、10年後の自分に向けたメッセージを書いたはがきを、市が合併30周年を迎える2036年に郵送し届けることにより、現在そして未来において、ふるさと伊達市で生きる喜びや誇りを改めて認識し、また地域への愛着を醸成することを目的に実施します。

【対象件数】(令和8年6月1日現在)

- ・市立小学校:2,254名
- ・市立中学校:1,245名
- ・県立支援学校(小中学部):90名



自分に向けたメッセージ
(イメージ)

(4) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業 38,100千円

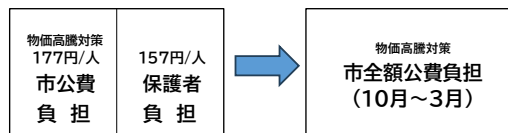
【概要】

エネルギーや食料品価格等の物価高騰の影響を受けている市民や事業者に対し、国の総合経済対策に基づき、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し支援します。

【取組内容】

1 中学校給食費負担軽減支援事業 20,541千円

物価高騰による市内中学生保護者の負担を軽減するため、中学校における学校給食費334円のうち、保護者負担額157円(10月～3月)を支援します。



2 集会所等エアコン設置補助事業 6,300千円

市内町内会が管理する集会所へのエアコン設置に対して補助を行います。

- ・補助率2/3 上限300,000円
- ・1町内会あたり2台まで



エアコン設置
(イメージ)

3 小中学校教育環境整備事業 6,209千円

物価高騰の影響を受けている市立各小中学校に対し、物品購入費を増額し、児童生徒の学習環境の維持・向上を図ります。
また、冷凍庫を設置し、冷却した児童生徒用ネッククーラー等を下校時に活用できるようにして、熱中症を予防します。

4 私立保育施設食料品等物価高騰対策支援事業 4,600千円

食料品等高騰の影響を受けている私立保育園・私立認定こども園に対して、交付金を支給することにより、給食の品質維持と子どもたちの最適な教育・保育環境の維持・向上を図ります。

5 こども食堂物価高騰対策事業 450千円

市内のこども食堂に対して、交付金を支給することにより、食材の確保を支援し、安定した食事の提供を図ります。

令和7年度伊達市決算の概要

人と緑と歴史が結び合う
ひかり輝く田園都市



問い合わせ先

財務部 財政課 電話024-575-1189

1 一般会計決算額の概要

単位：千円

	令和7年度	令和6年度	比較
歳入決算額 A	32,999,659	35,167,201	△2,167,542
歳出決算額 B	31,445,895	33,650,007	△2,204,112
形式収支 (A－B)	1,553,764	1,517,194	36,570
実質収支 (※)	1,501,695	1,448,409	53,286
財政調整基金残高	2,035,862	2,436,757	△400,895
一般会計基金全体 年度末残高	7,435,853	8,461,638	△1,025,785

※実質収支：「形式収支」から「翌年度へ繰り越すべき財源」を除いたもの

○令和7年度の主な事業

令和7年度は、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援事業を実施したほか、「伊達市第3次総合計画」の3年目として、目指す将来像「人と緑と歴史が結び合うひかり輝く田園空間・伊達市」の実現に向け、次の事業を実施しました。

○令和7年度の主な事業

①若者支援

新規就農者の経営基盤の早期確立を支援するため、支援資金の交付や研修農場での技術養成講座を実施しました。また、市内に就労した私立園の保育士への支援や移住者のフォローアップの交流会等を実施しました。

就農支援事業	58,605千円
保育職就労支援推進事業	25,613千円
移住・定住促進事業	21,409千円

○令和7年度の主な事業

②子育て支援

放課後児童クラブを運営し、遊び及び生活・学習の支援や妊婦等の心身の状況や家庭環境を把握し、伴走型の相談支援を行いました。また、妊婦の産前産後期間における経済的負担を軽減する事業を実施しました。

放課後児童健全育成事業	279,598千円
伊達市版ネウボラ事業	23,810千円
出産・子育て応援事業	23,100千円

○令和7年度の主な事業

③健幸支援

「元気づくり会」の実施など生活習慣病の予防と健康寿命の延伸を図るとともに、ウォーキングイベントの開催や「だてな健幸ポイント事業」など「歩く」ことを基軸とした健幸都市づくりを推進しました。また、市民を対象に歯周疾患検診及び歯科保健指導を実施しました。

健康運動習慣化支援事業	31,742千円
健幸都市推進事業	10,372千円
歯っぴースマイル事業	7,923千円

○令和7年度の主な事業

④シビックプライド（地域への誇りと愛着）

消防団員に対する準中型車（3.5t以上）の免許取得経費の助成や風評払拭に向け本市農産物を首都圏等へ広くPRし農業の振興・発展を推進しました。また、令和元年に史跡指定された伊達氏梁川遺跡群の保存・活用の方針を定める基本計画の策定を行いました。

消防団活動事業	110,001千円
農産物魅力発信事業	25,331千円
史跡整備保存活用事業	18,041千円

■災害対策関連事業

防災体制の強化・資機材の整備等を行うとともに、浸水被害を防ぐため湛水防除施設（排水機場）の安定的な運用・維持管理を実施しました。

災害（防災）対策事業	75,585千円
湛水防除施設維持管理事務	72,015千円

■ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者・事業者を支援しました。

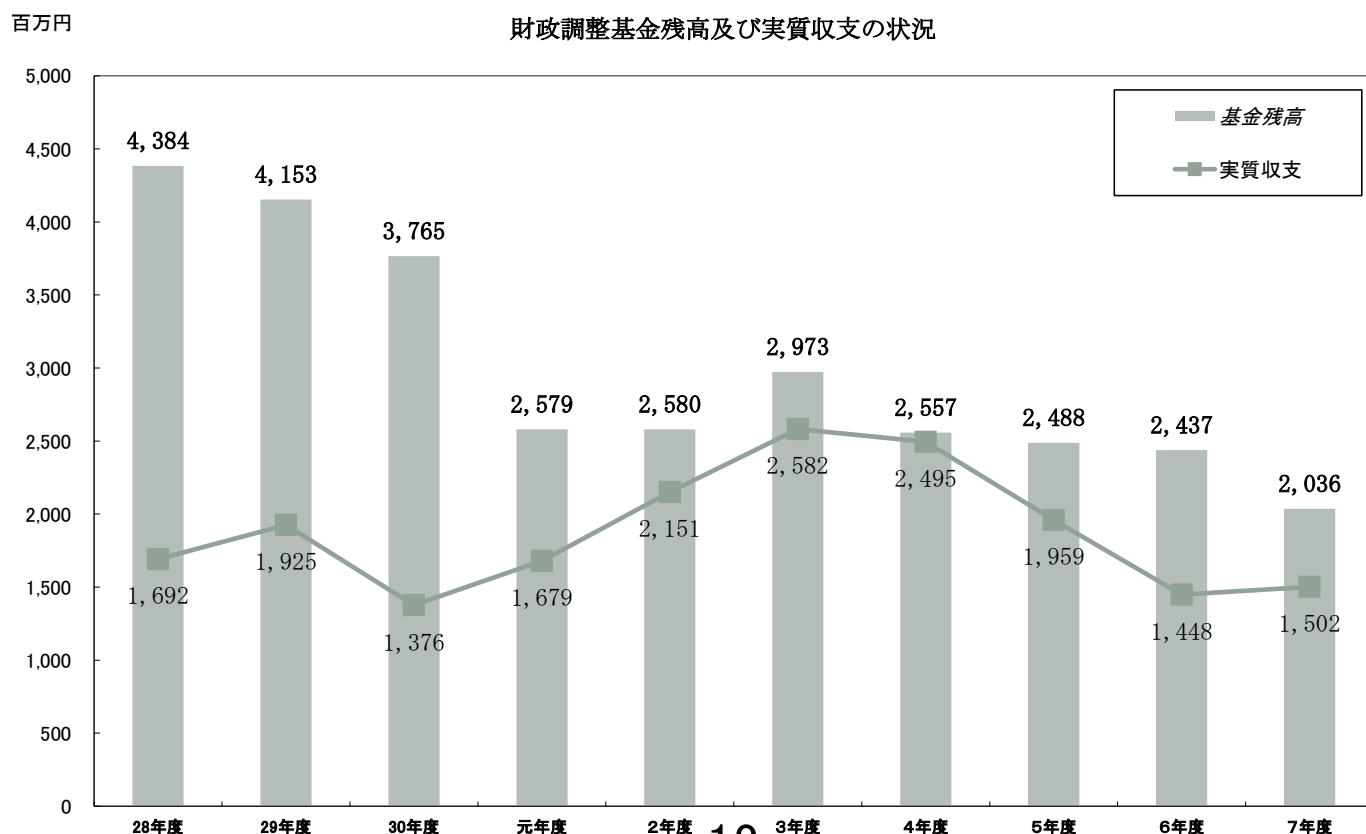
物価高騰対応重点支援給付金（非課税世帯・こども加算等）	16,060千円
市県民税課税事務（定額減税関係）	204,789千円
地域経済活性化事業（地方創生臨時交付金事業等）	183,979千円
食育推進事業（小中学校・幼保）	21,276千円
物価高騰対策給付金（燃料費支援）	64,460千円
合計	490,564千円

■ 物価高対応子育て応援手当給付事業

対象児童を養育する父母等に対し、児童ひとり当たり一律2万円を支給し、物価高騰の影響を受ける子育て世帯を支援しました。

物価高対応子育て応援手当給付事業	121,083千円
------------------	-----------

1 財政調整基金、実質収支の状況



○財政調整基金残高及び実質収支の状況

- ・ 財政調整基金は、物価高騰等による経費の増加などに対応するため取り崩しを行った結果、前年度末残高から約4億円減少しました。
- ・ 実質収支は、歳出において人件費や扶助費等が増加したものの、歳入における地方税や地方交付税等の増加がそれを上回ったことから前年度決算から約5,300万円増加しました。
- ・ 今後も、将来の負担を減らし、物価高騰による経常的な経費の増加や施設の老朽化などに対応するため、財政調整基金を維持できるように、歳入財源の確保及び事務事業の見直しを図り、適正な予算編成と執行に努めます。

2 健全化判断比率及び資金不足比率

(単位：％)

区 分	実質赤字 比率	連結実質 赤字比率	実質公債費比率		将来負担 比率	資金不足 比率
			3箇年 平均	当該年度		
令和7年度	－	－	10.8	9.79954	55.8	－
	(12.58)	(17.58)	(25.0)	(25.0)	(350.0)	〈20.0〉
令和6年度	－	－	10.9	9.93280	51.0	－
	(12.61)	(17.61)	(25.0)	(25.0)	(350.0)	〈20.0〉
比較	－	－	△0.1	△0.13326	4.8	－

() は、早期健全化基準の数値 〈 〉 は、経営健全化基準の数値

○健全化判断比率及び資金不足比率

- ・ 実質赤字比率、連結実質赤字比率及び資金不足比率については、昨年度と同様、該当がありませんでした。
- ・ 当該年度の実質公債費比率については、前年度比で0.13ポイント下降（良化）しました。

将来負担比率については、充当可能基金の減少等により、前年度比で4.8ポイント上昇（悪化）しました。

- ・ 実質公債費比率、将来負担比率ともに、国が示す早期健全化基準内となっておりますが、今後、公共施設の老朽化などに係る将来負担が見込まれるため、引き続き健全な財政運営に努めます。

3 一般会計以外の決算状況

【特別会計】

（単位：千円）

会計名	歳入決算額 A	歳出決算額 B	収 支 (A-B)
国民健康保険	6,100,619	5,965,143	135,476
後期高齢者医療	1,035,307	1,034,013	1,294
介護保険	7,934,418	7,875,889	58,529
工業団地	5	5	0
財産区（11会計）	10,695	4,197	6,498

【企業会計】

(単位：千円)

会計名	歳入決算額 A	歳出決算額 B	収 支 (A-B)
水道事業会計 (収益的収支)	1,823,034	1,652,223	170,811
水道事業会計 (資本的収支)	143,810	538,621	△394,811
下水道事業会計 (収益的収支)	872,936	749,162	123,774
下水道事業会計 (資本的収支)	397,462	723,267	△325,805

※資本的収支の不足額については、消費税、地方消費税資本的収支調整額及び留保資金等で調整補填しています。